



② 甘さ上々！ハウスミカン収穫始まる

6月27日（金）、白山好弘さん（崎園）のビニールハウスではさみ入れ式が開かれ、生産者やJA、行政、市場関係者らが多数参加する中、テープカットなどのセレモニーの後、黄色く輝き、鮮やかに色づいた『かごしま早生』が収穫され、県内を主としたハウスみかんの出荷が本格的に始まりました。

今年産は、4～5月に晴天に恵まれたことで、糖度・着色・着果が例年よりも良く、生産者らは中元商材としての高値取引を願いました。

なお、JAそお鹿児島によると、管内では現在8戸の農家が191アール（うち本町6戸、栽培面積120アール）栽培しており、出荷量は県内生産の55%にあたる105トン、販売額については約8,900万円を見込んでいるそうです。

白山さんは「今年産のハウスみかんについては、品質も良く、糖度も11度以上とおいしいみかんに仕上がっています。」と話されていました。

① 社会を明るくする運動！ & 薬物乱用防止を呼びかけ！

『第64回社会を明るくする運動』のメッセージ伝達式が6月26日（木）、役場にて行われました。

伝達式では、曾於保護区保護司会（会長：山中ミチ子さん）のあいさつの後、大崎町更生保護女性連盟（会長：黒丸須美恵さん）から法務大臣メッセージ、大崎町保護司会（会長：岩田秀一さん）から県知事メッセージがそれぞれ町長に伝達されました。

伝達式の後、啓発活動の一環として、大崎町更生保護女性連盟と大崎町保護司会により町内の学校訪問が行われました。学校訪問では、大崎町更生保護女性連盟から手作りの雑巾が寄贈され、大変喜ばれました。

また、7月5日（土）には、『ダメ。ゼッタイ。』ヤング街頭キャンペーンが志布志市内で行われ、本町からは大崎町保護司会、大崎町更生保護女性連盟および大崎中学校の生徒らが参加しました。

参加者らは、「薬物乱用をなくしましょう。」と薬物乱用防止の呼び掛けを行うとともに、買い物に来られた方々に啓発グッズの配布を行いました。